

トランプ氏側近 日露交渉に理解

民進議員と会談

米大統領選の共和党候補ドナルド・トランプ氏(70)の外交アドバイザーで、来日中のマイケル・フリントン国防情報局長官は11日、東京都内のホテルで民進党の長島昭久・元防衛副大臣と会談した。

長島氏によると、フリントン

氏はトランプ氏の過激な発言に関し、「勝ち抜くには刺激の強い発言も必要だ。大統領に選ばれたらああいう調子でやるわけではない」と語った。在日米軍駐留経費の負担増要求については、「今まで築き上げたものをひっくり返すことにはならない」と指摘した。ロシアに関しては「手ごわい相手だが、付き合わなければいけない。日本の立場は分かる」と述べ、日露の平和条約締結交渉に理解を示した。

環太平洋経済連携協定(TPP)にトランプ氏が反対していることに関しては、「マルチ(多国間)のやり方は好まない。2国間の関係で外交関係を作っていくきたい」と説明した。